PRESS RELEASE
2026年11月11日

株式会社Sapeet

AIロープレシステム「SAPI ロープレ」、東海エリアを中心とする生協のソリューション提案力の強化を支援
～先行導入の一宮生協では、加入率が前年度平均比9%向上～

株式会社Sapeet（本社：東京都港区、代表取締役社長：築山 英治、以下「Sapeet」）は、生成AIを活用したロープレシステム「SAPI ロープレ」を、生活協同組合連合会アイチョイス（本部：愛知県名古屋市、理事長：大宮 隆博、以下「アイチョイス」）に提供しました。

先行導入した一宮生活協同組合（以下、「一宮生協」）では、営業現場の実態に沿ったAIロープレを実施し、加入率の向上につながりました。その成果や運用ノウハウを元に、現在はアイチョイス全体へ活用を広げています。

導入の背景

営業・接客の現場では、相手の反応を捉えながらヒアリングや提案、切り返しを行う実践的な対応力が求められます。こうしたスキルを身につけるには、実際の営業場面を想定したトレーニングを継続的に行うことが重要です。

愛知県一宮市を中心に宅配などを展開する一宮生協では、今後、地域のイベントや訪問など、リアルな顧客接点をさらに増やしていく方針のもと、職員が実践的な営業スキルを磨ける育成環境を求めていました。また、営業拠点が広がる中でも管理職や指導担当者の負担を増やすことなく、職員が場所や時間を問わず繰り返し練習できる仕組みを整えたいと考えていました。

そこで、AIアバターを相手に実践練習ができるAIロープレ「SAPI ロープレ」を導入しました。

一宮生協での活用と成果

■ 活用方法

一宮生協では、あらかじめ用意された研修を繰り返すのではなく、現場で生まれた営業機会や課題をその都度トレーニングへ落とし込むことで、本番に近い環境で営業スキルを磨いています。具体的には次の様なシーンを作成しています。

- 地域広報イベント
  来場者との会話から興味やニーズを引き出し、生協の加入につなげる一連のコミュニケーションを練習します。

- 子育て世帯が多く来場する大型イベント
  顧客のペルソナや反応、難易度を変えた複数のシーンを用意し、ヒアリングや提案、断られた際の切り返しを練習します。

- 急な営業機会に対応した、サンプルお届け訪問
  サンプルを渡すだけではなく、生協の商品やサービスの価値を伝え、次のコミュニケーションにつなげる会話を練習します。

■ 得られた成果
SAPI ロープレの活用を進める中で、一宮生協では営業成果に加え、育成方法や現場職員の行動にも変化が現れています。

- 導入直後から、加入率向上など営業成果へ貢献
  SAPI ロープレ導入直後から積極的な活用が進み、わずか1ヶ月で営業成果に変化が現れました。組合全体では、加入率が前年度平均比で9%向上し、特に営業成果に課題を感じていた職員においては前月比および前年度平均比で加入率が10%向上するといった事例も見受けられました。

- 会話ログを起点とした、育成内容のアップデート
  SAPI ロープレ上の会話ログから「入会特典やお得さの説明に偏っている」「生協ならではの価値を十分に伝えられていない」といった課題を可視化。こうした気づきをもとに、「生協独自の強みを伝えられているか」を重視した評価項目へ見直すなど、ソリューション提案をより意識したトレーニングへと改善しています。

- 継続的なトレーニングの定着
  各営業所の所長を中心に、朝のスキマ時間などを活用した練習が定着し、導入から3ヶ月で月間1人あたり平均16.9回、週4回程度のペースでロープレが実施されました。また、営業・イベント・事務など職種を問わず参加できる一問一答形式のトレーニングも取り入れ、知識の抜け漏れを確認する機会として活用しています。

- 現場での行動変容と指導の効率化
  職員からは「SAPI ロープレで練習したことと同じような状況が実際のイベントでも起きた」といった声があがり、失敗を恐れず一歩踏み込んで提案する姿勢にもつながっています。また、指導者は文字起こしされた会話ログを見ながら具体的なフィードバックを行えるようになり、新人研修や振り返りも進めやすくなりました。

一宮生協ご担当者様からのコメント
今年度は、加入率の底上げを重点課題の一つとして掲げ、その手段としてSAPI ロープレを導入しました。ソリューション営業の学びや現場で生まれた課題をもとに、状況に応じたシーンを作成しながら活用しています。音声での練習場所や操作面など、定着までには試行錯誤もありましたが、会話ログを通じて職員一人ひとりの営業の特徴や課題が見えるようになり、指導する側にも多くの気づきがありました。まだ活用は道半ばですが、今後はより多くの職員が日常的に使いこなし、営業力の底上げにつなげていきたいと考えています。

アイチョイス全体への展開と今後の展望
一宮生協で得られた成果や活用ノウハウをもとに、現在は、あいち生活協同組合（以下、「あいち生協」）と生活協同組合アイチョイス岐阜（以下、「生協アイチョイス岐阜」）を含む、アイチョイス全体へ活用を広げています。

あいち生協では、顧客の状況やニーズをより深く引き出すヒアリング力や、一人ひとりに合わせた提案力の向上を目指します。生協アイチョイス岐阜では、新入職員や営業成果に課題を抱える職員を対象に、基本的なトークスクリプトの習得を目的としたトレーニングを実施しています。運用開始から約1ヶ月で、ある対象職員では、加入1件の獲得に

要する時間が30時間から4.5時間まで短縮しました。これにより、従来は2日に1件を獲得することも難しかった状態から、1日1件程度の加入を獲得できる水準まで改善するなど、早期に成果が現れています。

今後もSapeetは、SAPI ロープレを通じて、アイチョイス全体で目指すソリューション提案の強化を支援してまいります。

「SAPI ロープレ」とは

SAPI ロープレは、生成AIを活用し、実際の商談や接客に近い会話トレーニングを行える実践型のロープレシステムです。企業ごとの商材や顧客像、営業プロセス、評価基準に合わせてロープレシーンを設計でき、時間や場所を問わず繰り返し練習できます。ロープレ終了後は、AIが会話内容を評価し、スコアや具体的なフィードバックを提示します。管理者は、録画や文字起こし、実施状況、評価結果を確認でき、個人や組織の課題把握や、育成施策の改善に活用できます。

SAPI ロープレ

「SAPI」は、人の知（Sapience）を拡張し、組織に溶け込むAI SaaSとして名づけました。
当社名の「Sapeet」にAIを組み込むことで、組織にも溶け込み活用可能なプロダクトシリーズであることを表しています。

「SAPI ロープレ」ホームページ：https://suite.sapeet.com/roleplay/

生活協同組合連合会アイチョイスについて

連合会名　：生活協同組合連合会アイチョイス
所在地　：愛知県名古屋市南区薬師通1-14
代表者　：理事長 大宮 隆博
URL　：https://ichoice-coop.com/

株式会社Sapeetについて

Sapeetは、AIで企業独自のベテラン知見を解析し、競争優位性につながるコア業務の価値を増幅・拡張するExpert AI事業を運営する東京大学発ベンチャーです。コミュニケーションAIや身体分析AIを使いやすいシステムとして提供し、企業のAI×人間の協業体制構築を支援します。

会社名　：株式会社Sapeet
所在地　：東京都港区芝五丁目13番18号 いちご三田ビル8階
代表者　：代表取締役社長 築山 英治
上場市場　：東京証券取引所 グロース（証券コード：269A）
URL　：https://sapeet.com/

当社ではIR情報のメール配信を行っています。ご希望の方はこちらよりご登録ください。